

さめがわ

[広報]

PUBLIC RELATIONS SAMEGAWA

October
2023
10

令和5年10月11日発行(毎月1日発行)
第834号(昭和27年9月創刊)

発行/福島県鮫川村 編集/鮫川村役場村づくり推進室
〒963-8401 福島県東白川郡鮫川村大字赤坂中野字新宿 39番地 5

村内各地に咲くキバナコスモス

ぼく・わたしの夢 [第84回] 鮫川小6年生



石井泰嘉さん

ぼくが今がんばっていることは、バレーボールです。なぜなら、ぼくは最高学年としてみんなをまとめないといけないからです。これからも大会や練習試合が増えていきます。6年生は責任重大なのががんばって練習しています。また中学校でもバレーを続けたいから、真面目に練習をして、家でも自主練習をして、バレーボールをずっと楽しくやりたいです。



石井唯愛さん

私の将来の夢は、パティシエになることです。私は、モンブランやスイートポテトなどが好きで、よくお店で買っていますが、どのお店も味がちがっていて、こだわりを感じます。だから私もたくさんのスイーツを作り、食べた人に自分のこだわりを感じて欲しいです。そのために、1番好きな味を見つけてその理想に近づくためにたくさん研究したいです。



関根知花さん

私の11月までの目標は、私ウィンターカップに向けてのバスケ練習です。そのために練習をいつもより本気でやっとうまくなり、気合を入れて戦い、いろいろなチームと戦いたいです。そしてミニバスのみなどと協力して今まで勝てなかったチームとの点差を縮めたいです。下級生にお手本を見せて、がんばります。

My favorite Snapshot in SAMEGAWA
みんなの写メがわ

ハッシュタグ
「#さめがわいいところ」
を付けたインスタグラム投稿写真を紹介しま



投稿日 2023年9月12日
投稿者 daizu_daisuke

今回は @daizu_daisuke さんの投稿です。トレセンプールの骨格がプールに反射しています。奥に行くにつれて歪曲しているように見え、まるで異空間にいるような錯覚になりますね。とても面白い写真です。

皆さんの素敵な写真を投稿しよう!!

SNSでも情報配信中

村公式アカウントはコチラ



編集後記

残暑が厳しい中、村内を回っているとキバナコスモスが咲き乱れている場所があり、急いで車を止めてシャッターを切りました。太陽に照らされたキバナコスモスが青空にとっても映えています。花言葉は「野性的な美しさ」…まさにその通りで自然の中の美しさを感じました。(菊地)

大好きなおじいちゃんとおばあちゃん

鮫川小学校 六年 黒田 奈花



私のおじいちゃんとおばあちゃんは、まだ二人とも仕事をしています。

おじいちゃんの仕事は、線路のレールを点検したり、交換したりする仕事です。どんなに暑くても、寒くても、列車を安全に走らせるために、昼間や私が寝ている時間に仕事をしているので、本当にちゃんと休んでいるのか心配になります。

おばあちゃんの仕事は、電子機器の一番大事な部分に、水やほこりが入らないようにする接着剤のような部品のサンプルを

つくることです。作るだけでなく、作った部品の強度などを調べてパソコンにデータを入力しているので大変だなあと思います。

次にそんなおじいちゃん、おばあちゃんの好きなところを紹介します。

おじいちゃんの好きなところは、優しいところです。小さいときからいつも、目を合わせる大きさくうなずいてくれます。私が何も言わなくても、私が思っていることをわかってくれているんだなあとうれしくなり

ます。私がかさを持たずに学校へ行き、帰りに雨が降ったときには、バス停まで車で迎えに来てくれたこともありました。おじいちゃんの車が見えたとき、お姉ちゃんと二人でとても安心したので覚えています。私もおじいちゃんみたいに優しい人になりたいです。

おばあちゃんの好きなところは、私のしゅ味に付き合ってくれるところです。私の持ち物などを見て、私の好きなキャラクターがわかると、キャラクターグッズをお店で見つけて買ってきてくれます。そればかりか、いつの間にかおばあちゃんも同じキャラクターを好きになり、一緒にグッズを集めたりしています。そんなおばあちゃんを見ると、かわいいなあと思っています。私がおばあちゃんくらいの歳になっても、同じように若い気持ちでいられたらいいなと思います。おばあちゃんは仕事の都合ではなれて暮らしていますが、

「ありがとう」「じゃ足りない

鮫川中学校 三年 齋藤 幸恵



私の祖父母は隣町に住んでいます。私は小さいころから、週末に祖父母の家へ行き、「さっちゃん」と呼ばれ、たくさん可愛がってもらいました。そのため今では、おじいちゃん子です。

私の祖父は、プロ野球や相撲が好きです。そんな祖父に影響されて、私もプロ野球と相撲が好きになりました。週末、祖父母の家へ泊まりに行くと、祖父と私でプロ野球や相撲を見て盛り上がるので、リビングが「解説ブース」の様になります。祖父は日曜日に私が家に帰ると

き、いつも「もう泊まりに来なくていいよ。さっちゃんの解説がうるさくて野球が満足に見られないから。」と言います。しかし、祖父が金曜日になるのを一番楽しみにしていることを祖母から聞きました。

祖母はいつもご飯作りや草刈りをしていきます。週末に泊まりに行くと、私たちのご飯も作ってくれます。祖父と私、妹、そして祖母の四人分を作らないといけないけれど、とても美味しいご飯を作ってくれます。他にも、祖母と一緒に相撲を見ます。

私と祖父がプロ野球を見て盛り上がる時は、「やかましいから寝室のテレビで見る。」と言います。しかし、相撲になると私よりも祖母の方が盛り上がっています。

そんな祖母に、たくさん感謝したいことがあります。小さいころから、母が忙しいときは祖母の家に行き、祖母にひらがなや本の読み方を教えてもらいました。祖父は、祖父が子どもころ遊んだ遊びや、竹で作ったシノ鉄砲の作り方を教えてくれました。特に、二人に感謝したいことは、私に眼鏡を買ってくれたことです。私は小学五年生の時から視力が悪く、そのまま病院へ行かず、中学二年生の頃には、0・06という視力になり、今でも少しづつ低下しています。そんな私を祖父が心配し、病院へ連れて行ってくれました。「自分が気に入った眼鏡を選んで買っていていいよ」と言ってくれたため、気に入っ

いつも私たち家族のことを心配してメールをくれます。時々会うと、最近の様子を聞いてくれるのですが、色々聞かれると私も適当に返事をしてしまつて、ちゃんと話をすればよかったなあと反省することもあります。

おじいちゃん、おばあちゃん、いつもお仕事お疲れさま。どんなに疲れていても、私たちのことを気にかけて、仕事で忙しいお母さんの代わりにいろいろなことを手伝ってくれてありがとうございます。おじいちゃんとおばあちゃんのおかげで私は毎日楽しく過ごせています。これからも、無理をしないで、体を休ませながら仕事を続けて欲しいと思います。そして、休みの日には一緒に遊んだり、出かけたらしょうね。いつもありがとう。



た眼鏡を買うことができた。今ではその眼鏡がとても大切な物です。

祖母には「ありがとう」「じゃ足りないぐらい感謝しています。そのため、私が立派な大人になったら「ありがとう」以上の恩返しをしたいと思います。それまで祖父母には健康で元気に生活してもらいたいです。

私たちは世界で一番仲の良い孫と祖父母だと思っています。これからも、長生きして私に二人の笑顔をたくさん見せてください。

鮫川村の将来像

人を育て、 未来につなぐ

- 経歴 -

宗田雅之【そうだ まさゆき】
昭和26年9月1日生 72歳。大字赤坂東野字広畑在住。
日本大学工学部卒業。石油販売業に従事。
2007年4月 鮫川村議会議員に初当選。
2015年4月から2023年3月 鮫川村議会副議長。
2023年4月から2023年8月 鮫川村議会議長。
今年8月の村長選挙で当選。任期は令和5年8月31日から令和9年8月30日。



8月に行われた鮫川村長選挙で、宗田雅之氏が立候補し当選しました。
これからの村政運営を担う宗田新村長に「目指す村づくり」を聞きました。

基本は「人を育てる」 本音で話して課題に向き合います

——これから村政運営に臨む、宗田村長の決意をお聞かせください。

宗田 まず是人です。人がいなければ村政運営はできません。人を作るのではなく、「人を育てる」ことが最重要だと考えています。人が育てば、そこから様々な事業の展開が可能になります。全国的にも問題に挙げられますが、村にも少子高齢化に関する課題・農業の担い手不足、中心地の活性化：多くの課題があります。人の手でしっかりと、正面からこれらの課題に向き合って解決に向け取り組みま

す。

村に住んでいる人は「鮫川村が良くなつて欲しい」と誰もが思っていると信じています。育ってきた環境や考えの違いはあるとは思いますが、最終的に目指すゴールは同じです。「この村に生まれ育って良かった」と誇りを持って生活できる村にしたいと考えています。

私は難しい言葉はいらないと思っています。本音で話したいので、私に対して本音で意見をぶつけて欲しいです。

いまある資源に磨きをかけて 魅力ある村にして人を呼び込む

——宗田村長が考える、鮫川村の現在の課題、今後の取組について教えてください。

宗田 この自治体でもそうかもしれませんが、少子化と高齢化、人口が減り続けていることが一番の課題だと思います。村にいる人をこれ以上減らさない、少しでも増やしていくこと。

そのためにまずは「鮫川村に来てくれる人を増やす」交流人口や関係人口を確保することが重要だと思います。企業誘致などは村単独では厳しいと思いますので、東白川郡として広域的に取り組む必要があります。とすると、現在、村にある資源、足元にある魅力を掘り起こして、見つけて、活かしていかなければなりません。

村には湯の田温泉があります。あの周辺の紅葉は非常に美しい。寒暖差があるため色づきが素晴らしいんです。村



初登庁で職員から花束を受け取る宗田村長

の一番の資源は里山景観の美しさでしょう。里山にある紅葉は人を呼ぶための資源になりますので日本の紅葉スポットにしたいです。人は美しい景色と、美味しい食べ物があれば、どんな山奥にも足を運んでくれます。

併せて手まめ館との連携も欠かせません。私は6次産業化としてはすでに完結していると思えています。豆腐・味噌・納豆と商品はできています。あとは売り方やPRの工夫です。「もう少し小さい容

「関係人口の確保」と 「中心地域に人を呼び込む」

子育て世代への支援と 高齢者への支援を両立させる

量で欲しい」とか「パッケージを変えて欲しい」などの声は私の耳にも届いているので、協力してより良い商品、魅力ある商品を展開したいです。手まめ館がより繁盛すれば中心地域が活性化する助けになると思います。

また、子育て支援と高齢者支援も重要です。村の宝である子どもたちが安心して暮らせる村でなければなりません。選挙中の公約でも挙げていた「給食費の無償化」も子育て支援の1つです。もちろん子どもを育てること、子どもに食べさせることは保護者

の責任です。しかし様々な事情でそれがかなわない場合が公助として支援していく必要があります。

教育も重要です。特に学力。学力を高めることは子どもたちの視野を広げ、職業選択が広がることにつながります。小中一貫教育の議論が進んでおりますので、新しい教育長が着任しましたら改めて話したいと考えています。将来どんな村にしたいか、子どもたちにどんな教育を受けさせることが幸せなのかを考えながら議論を進めたいと思います。

ます。

そして高齢者支援としては集合住宅の整備を考えています。跡継ぎがない単身の高齢者世帯が増え、隣近所もいなくなると生活に不安を抱えている人も増えていきます。福祉や介護サービスを集約化して限られた人員で支援するためにも高齢者の集合住宅は必要だと考えています。

昨年広報さめがわでも取り上げられましたが、高齢者の免許返納の問題もあります。現在村では地域の足の確保を目的としてデマンド交通の整備を検討しており、11月から

実証運行が始まる予定です。ぜひ多くの人が御利用され、実際に乗っていたきたいと思っています。そして使った感想を村に返していただきたい。

デマンド交通を利用して村内の観光地を巡ることができたり、温泉施設と連携した割引サービスなどの企画もあると良いなと考えています。

あと今は世の中のデジタル化が進んでいます。村のあらゆる施策、農業にもデジタルの要素を取り込んで、村の人たちの暮らしが便利になることを望んでいます。

【目標】

- ・人を育てる
- ・交流人口、関係人口の確保
- ・中心地の活性化
- ・高齢者の集合住宅の整備
- ・子育て支援
- ・湯の田温泉周辺環境整備
- ・里山景観の維持
- ・地域の足の確保（デマンド交通）
- ・子どもたちの学力の向上
- ・デジタル化の推進

村は現在第4次振興計画の後期にあります。次の振興計画は総合戦略に統合され、より具体的でスピード感を求められる計画になります。すでに策定に向けて動き出しています。最後に、これからの村づくりについてどのようにお考えでしょうか？

宗田 「人を育てる」ことが基本だと言いました。計画を立てるのも、それを実行するのも人です。人が育つことが村づくりには必要です。高齢者は今まで村をけん引してきた素晴らしい経験と知恵を持っていきます。それらを若い世代に引き継いでいくことも「人を育てる」ことにつなが

ります。世代を超えて、未来に繋がるようにしたいです。最初に話しましたが、生まれた環境が違う、考えが違うのは仕方ない。鮫川を良くしたい思いは一緒です。尺度がちがうものをしっかり揃えて、同じ方向を向いて村づくりに取り組めるようにがんばります。



全3回行います

令和5年産米の食味検査を実施

豊かな里山の自然を活かした農産物生産振興の一環として、令和5年産米の食味検査を実施します。検査を希望する人は、期限厳守で申し込んでください。

検査対象米
うるち米（もち米は対象外）

検査方法
「米粒食味計」で検査を実施します。※検査証明書は発行されませんので、検査結果は参考データとしてご使用ください。

申し込み方法
玄米2合を農林商工課に持参してください。袋には「生産者名」「品種名」を明記してください。

持込期限
▼1回目：10月13日（金）
▼2回目：10月27日（金）
▼3回目：11月10日（金）

圃村農林商工課
☎49-3113

事業者へ白河税務署からお知らせ

インボイス制度の説明会を開催

開催日時 令和5年10月20日（金）
▼課税事業者向け…10時～11時
▼免税事業者向け…14時～15時

申し込み期限 令和5年10月13日（金）※定員になり次第、申し込み修了

会場 白河税務署1階会議室

その他 説明会終了後、登録要否相談会を個別で行います。必ず事前に申し込みしてください。

圃白河税務署 法人課税部門
☎0248-227128

議長に前田武久氏が就任

議会の新体制が決定

前議長の宗田雅之氏が議員を辞職したことに伴い、9月6日に臨時会が開催され、新議長に前田武久氏が就任いたしました。

圃村議会事務局
☎49-3115



前田武久氏

武藤誠教育長が退任

8月30日に武藤誠教育長が退任しました。武藤教育長は令和2年4月に就任して以来、村の教育行政のために力を尽くされました。



花束を受け取る武藤誠教育長

議長 前田武久	副議長 緑川 茂
監査委員 北條 利雄	総務・文教常任委員会
委員長 森 隆之	副委員長 遠藤 貴人
委員 北條 利雄	委員 前田 武久
委員 本郷 弘義	委員 前田 武久
委員 青戸 義之	委員 本郷 弘義
委員 森田 重男	委員 遠藤 貴人
委員 森 隆之	委員 緑川 茂
委員 遠藤 貴人	委員 緑川 茂
委員 北條 利雄	委員 青戸 義之
委員 北條 利雄	委員 青戸 義之
監査委員	議会運営委員会
北條 利雄	委員長 森 隆之
東白衛生組合議会議員	副委員長 青戸 義之
森田 重男	委員 本郷 弘義
白河地方広域市町村圏整備組合議会議員	委員 青戸 義之
前田 武久	委員 森田 重男
緑川 茂	委員 森 隆之

ふるさと納税で全国へPR

返礼品提供の事業者を募集

村では、地元産品などのPRや地域産業の活性化のため、ふるさと納税の返礼品提供に協力していただける事業者を募集します。登録された返礼品は、各種ふるさと納税ポータルサイトに掲載され、全国へのPRにつながります。

返礼品提供事業者のメリット
▼全国に向けて商品等をPRすることで販路拡大と売上向上につながります。
▼返礼品の発送時に自社のパンフレットやチラシを同封し情報発信することができます。
▼事業者の費用負担はございません。（ポータルサイト掲載料や送料等は村が負担します。）

事業者要件
▼村内に事業所を有する法人、団体または個人事業者等であること。
▼法令等に沿った生産・製造・販売を行っている事業者等であること。
▼村税の滞納がないこと。

▼インターネット環境を有しており、村が契約しているふるさと納税ポータルサイト運営事業者（株式会社さとふる）と電子メールによる連絡ができること。

返礼品要件
▼本村の魅力発信及び地域産業の振興につながる商品等であること。
▼品質及び数量面において安定供給が可能であること。
▼村内で生産、製造、加工されているものや、原材料の主要な部分が村内で生産されたものであること。または村内で提供されるサービスであること。

（募集内容について）
圃村農林商工課商工観光係
☎49-3113
（ふるさと納税全般について）
圃村総務課財政係
☎49-3111

2024年版の販売決定

福島県民手帳を販売します

半世紀以上のロングセラー「ふくしま県民手帳」の2024年版が販売されます。福島に関する充実した統計データや、県内52の観光施設や道の駅で利用できる特典も付いています。
価格 770円（税込）

販売場所 村役場村づくり推進室（役場2階中央）
※販売開始は10月中旬を予定しています。詳細は後日お知らせいたします。
圃村づくり推進室
☎57-6332

投票立会人を募集します

村選挙管理委員会では、福島県議会議員一般選挙における期日前投票の立会人を募集します。希望する人は、選挙管理委員会事務局までご連絡ください。お待ちしております。

◆選挙の日程など

告示日 令和5年11月2日（木）
期日前投票 令和5年11月3日（金）～令和5年11月11日（土）
投票日 11月12日（日）

◆期日前投票の投票立会人の従事期間など
期間 11月3日（金）～11月11日（土）※1人につき2日間
程度お願いする予定です。

立会時間 8時30分～20時
場所 村役場1階 村民ホール
報酬等 9,500円/日
（源泉所得税控除前）
※選挙終了後の後払いとなります。
持ち物 印鑑、昼食代
圃村選挙管理委員会
☎49-3111

デマンド交通

が地域公共交通協議会で**実証運行決定**。

村では、令和3年度に鮫川村地域公共交通協議会を立ち上げ、これまで様々な公共交通の課題を協議して参りました。

乗客のいない空バスの運行が目立つようになり、高齢化率も年々上昇し、村民が等しく利用できる、新しい交通サービスが必要なのではないかという課題が見えてきました。

高齢者の運転による事故が社会問題化し、免許返納件数も増加しており、今後も増えることが見込まれています。



これらの課題を解決するために、利用者の予約に応じて、主に自宅から村内の目的地まで運行するドア・ツー・ドア方式の「デマンド交通」を令和5年11月から導入できるように協議を重ねてきました。

実証期間 (予定)



令和5年

11月

令和6年

3月

月曜日～土曜日及び企画運行日[※] **8時 → 16時**

【日曜日、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)は運休】

※企画運行日とは、村の文化祭や紅葉の時期などに日曜日でも運行できないか請負業者とこれから協議します。

運行エリア (予定)

村内全域

【塙厚生病院と磐城塙駅のみ乗り入れます】

車両体制：2台

▶自宅前から目的地の前まで乗車できる

「ドア・ツー・ドア方式」事前予約で乗合方式で運行します。

利用料金 (予定)



1回乗車あたりの料金

○未就学児は無料です。年齢は令和5年4月1日時点

大人 【19歳～69歳】	こども 【7歳以上18歳以下】	高齢者【70歳以上】 障がい者【年齢制限なし】	村外からの 来訪者
400円	200円	200円	1,500 [※] 円

※「村外からの来訪者」の料金は、実施する業者も含めてこれから検討していきます。

▶今回子育て支援策の1つとして、18歳以下までをこども料金として設定しました。

予約受付時間 (予定)



運行日の

8時～16時

※利用したい日の1週間前から希望出発時刻の2時間前まで予約することができます。

※次の日の朝8時の利用を予約する場合は、前日の16時までに予約が必要です。

利用方法 (予定)

手順1

①事前に利用登録の申請

手順2

②利用登録証を発行

手順3[※]

③予約専用ダイヤルに直接電話

※手順3 ▶登録者氏名・利用登録証の番号・利用日時・出発地と目的地・利用人数・希望出発時刻または希望到着時刻を伝える。予約時の出発地と目的地はそれぞれ1か所のみ指定できます。



例) 鮫川太郎です (利用登録証番号 1234567)。

〇〇日の金曜日、出発は13時に手まめ館で、目的地は自宅のある〇〇です。

問い合わせ

鮫川村地域公共交通協議会

(事務局村づくり推進室 ☎57-6332)

※予約の番号ではありません。

●予約ができるようになり次第、広報いたしますのでお待ちください。

デマンドとは、「需要」「要求」などの意味です。今までの村内での移動は診療所の1週間に一度の巡回バスでした。今回取り入れる「デマンド交通」は、利用者の予約をもとに「指定した時間」「指定した場所」に送り迎えを行うものです。暮らしやすい「鮫川村」の実現に向けて、村民のみなさんも村内で出来ることを増やしてみませんか？

堂々と行進する消防団員



4年ぶりの行進

鮫川村消防団秋季検閲

9月24日に青少年広場で4年ぶりとなる村消防団秋季検閲が開催されました。消防団員は鮫川運送の交差点に始まり、役場～郵便局前を經由し青少年広場まで約20分の行進を見せると、沿道から住民の拍手が送られました。検閲でも機敏で統率のとれた動きを見せ、村長は「素晴らしい検閲でした」と団員らを称えました。



通常点検の様子



敬礼する渡邊団長



ラッパ隊訓練の様子



表彰式に参加した3組の金婚夫婦

祝！結婚50年

金婚夫婦表彰式

9月13日に役場正庁で金婚夫婦表彰式が行われました。表彰を受けたのは4組、この日は3組のご夫婦が出席しました。金婚夫婦を代表して齊藤義男・久美子さん夫妻が挨拶を述べました。義男さんは「このような式典に感謝しています。これからもお互いを支え合い、社会に貢献したいです」と感謝の言葉を述べました。



祝辞を述べる福島民報社の菅野龍太さん



記事を書く真剣な表情の木村さん

今日が初出勤

中学生が村内事業所で職場体験

9月4日～5日に鮫川中学校2年生が村内外の事業所で職場体験学習を行いました。村内は湯座建設、まどか美容室、手まめ館、役場などが中学生を受け入れました。役場では木村隆一さんが広報を体験し、一眼レフカメラの使い方や記事の書き方を学びました。実践として、村内で職場体験をしている同級生取材し、新聞にまとめました。木村さんは「仕事とは誰かのためにやるものだと実感しました」と職業体験を終えて感想を話してくれました。



打席に立つ坂本大夢選手

初のベスト8進出決定！

第17回市町村対抗県軟式野球大会

9月24日、第17回市町村対抗県軟式野球大会第6日が福島市の県営あづま球場と本宮市のしらさわグリーンパーク野球場で3回戦8試合が行われました。鮫川村は二本松市との対戦で4-3で競り勝ち、初めて3回戦を突破しました。

第7日の30日は、郡山市のヨーク開成山スタジアム（開成山野球場）で準々決勝が開催されます。村民のみなさんの応援をよろしくお願いします。

敬老の日を祝う

トレセンで記念品を交付

9月9日、敬老会式典中止にともない、敬老記念品の交付が村農業者トレーニングセンターで行われました。村長は記念品を招待者一人ひとりに直接手渡し「おめでとうございます」とお祝いの言葉をかけていました。

記念品交付の対象者（75歳～95歳）は606人で、うどんや商品券、小中学生の敬老作文が掲載された記念誌が配付されました。記念品を受け取った一人は「式典が中止になって残念でしたが、こうやってお祝いの言葉をかけていただき嬉しいです」と笑顔で話しました。



記念品を笑顔で受け取る招待者

湯座建設が優秀工事受賞

福島県から「極めて優秀な工事」と評価

9月11日に役場村長室を湯座建設の湯坐社長が訪れ、令和5年度の福島県優良建設工事表彰「維持補修部門（建築・設備）」で4度目の受賞を果たしたことを村長に報告しました。この賞は、福島県が発注した工事の中で、他の工事と比べて極めて優秀な工事を表彰しています。今年度は1,650件のうち35社が受賞しています。湯坐社長は「これからも村の企業として恥ずかしくない努力をしていきたい」と抱負を話しました。



受賞を喜び笑顔の湯坐社長

Book

図書館の缶詰

図書館からおすすめの本をご紹介します
鮫川村図書館 ☎ 29-1150

歩く力 骨ストレッチ式ウォーキング

松村 卓、文藝春秋



ようやく過ごし
やすい気温に
なり、少し歩い
てみようかな？
と、考えている
方もいらっしゃる

のではないのでしょうか。何ひとつ
特別なトレーニングをせず、誰で
も簡単に身も心もラクになる自然
な歩き方が取り戻せます。いくつ
になっても健康な体を手に入れま
しょう。

泣きたい夜の甘味処

中山由香里、KADOKAWA



とある町に、
ひっそりとたた
ずむ一軒の甘
味処。熊と鮭
が営むこのお
店は、夜だけし

か営業していません。提供するの
は、あたたかい飲み物と甘いもの
一品だけ。今夜も、疲れて泣きたい
人々がこのお店に迷い込みます。

第3土曜日は
家族一緒に読書の日
←新着図書はコチラ



10月17日(火) "行政相談会を開催します"

会場 村公民館1階会議室
時間 13時~16時
相談料 無料

行政相談とは？

国の行政などへの苦情や意見、要望を受け付け、担当行政機関とは異なる立場から、その解決や実現を促進し、行政の制度や運営の改善に活かす仕組みです。

無料で相談でき、秘密は固く守られます。

こんな時は、行政相談を利用してください

- どこに相談したらよいか分からない
- 役所に申請したが、手続きが進まない
- 公共施設が壊れていて危険を感じる
- 窓口にはなんとなく行きづらい

村の行政相談委員

行政相談委員は、みなさんの身近な相談相手として総務大臣から委嘱され、自治体に必ず1人以上配置されています。ボランティアとして、国の仕事に関する苦情などの相談を受け付け、その解決のための助言などを行っています。

☎ 村づくり推進室 ☎ 57-6332



鮫川村行政相談委員
近藤 保弘さん

私は子どもの頃から電気製品に興味があり、電子機器製造の仕事に携わってきました。テレビは映像が映り、声が聞こえ、不思議で興味深い物でした。どんな原理で映像が見え、声が出るのか、自分で組み立て、不良修理ができれば良いと考え、製品を開発し物作りできる技術者に憧れ、工業高校に進み、電子機器製造会社に入社し定年退職まで勤めました。その間に妻と出会い結婚、子どもに恵まれました。世の中は高度成長期の渦の中、新製品を世の中に出し続ける必要があり、毎日帰りは遅く、休日出勤や出張で忙しい日々が続き、家庭や子どものことを妻に任せざるを得ない状況でした。妻や家族には感謝の気持ちでいっぱいです。

村民【随想】リレー — (302)

水野 一さん

好きこそ物の上手なれ

今から45年前に輸出先のアメリカへ出張した時の思い出は今でも忘れません。アメリカの電気製品は日本製品ばかりで日本の高品質、低価格が世界一であることに感動しました。また、都市間移動は飛行機、大規模なスーパーモールが既にあり、ガソリンはセルフスタンドで、今の日本社会のように発展していたことには驚かされました。今、孫からはおもちやが壊れると「じーじ直して」と言われては修理し、孫が喜んでる姿を見て幸せを感じています。これからの人生、妻と二人で趣味の家庭菜園や旅行を楽しみたいと思います。次号は、芳賀良雄さん(江竜田)にバトンタッチ！



みずの・はじめ ● 1956年8月生まれ。
趣味 旅行・工作
大字赤坂西野字大塩 67歳

俳句

冷奴一家というも二人なり

中井 恒峯

酒蔵の壁にアートのある薄暑

渡辺 家造

雨傘をふりまわす児ら夏休み

山本 恵子

嫁であり祖母でもありや敬老日

服部 啓一

しまい風呂耳を澄ませば虫の声

鈴木 米子

夏いっぱい青春詰める砂袋

齋須 信子

短歌

庭に飛ぶオニヤンマの羽根赤く染め真夏の
日差し西に傾く

鈴木イミ子

デデッポウ愛しむように響きくる亡母
を恋しき秋の夕暮れ

須藤 幸子

蚊もいない暑く夏日の夕闇に赤き無気
味な月昇りくる

関根キヌ子

猛暑日や明日の天気きになりて帰省の
子らにラインを送る

赤坂 和子

沖縄の嵐の被害心痛むスーパーの棚空
を報道

藤田智枝子

ため池の土手を草刈る女無心水面に映
る己影知らず

服部 啓一

群雀羽音も声も姿なく防鳥テープくたび
れ切れて

矢吹 一二

広報さめがわではみなさんの俳句・川柳・短歌などの作品を募集しています。掲載の相談は村づくり推進室広報担当まで。
☎ 57-6332

☎ 57-6332

情報BOX

暮らしに役立つ身近な情報をピックアップ!

鮫川村役場

(代表・総務課) ☎ 0247-49-3111

FAX 0247-49-2651



災害時対応電話

☎ 49-3302・☎ 49-3303

■開庁時間 平日 8時30分～17時15分

住民票や所得証明書などをお求めで、業務時間内の来庁が難しい人は、事前に電話をいただければ時間外でも対応が可能です。土日祝日の交付はできませんのでご了承ください。

■ふるさと納税・寄付 [7月受理分]

※村社会福祉協議会への寄付は除く

・ふるさと納税 … 26件

ふるさと納税サイトはこちらのQRコードからご確認ください↑



■今月の納税【納期：10月31日】

- ・国民健康保険税第5期
- ・村県民税第3期
- ・介護保険料第5期
- ・後期高齢者医療保険料第3期



令和5年10月1日から 福島県最低賃金が900円/時

福島県最低賃金は、福島県内すべての労働者に適用され、使用者はその金額以上の賃金を支払わなければなりません。

☎ 福島労働局雇用環境均等室

☎ 024-536-2777

戸草川（鮫川水系）水質汚濁問題

【敷地境界 9/21、9/22、9/25：水質検査結果】

これは村で行った独自検査です。

日時		R5.9.21	R5.9.22	R5.9.25
		雨	曇	晴
色		微褐色	微褐色	微褐色
臭い		有・弱	有・弱	有・弱
濁り		有・弱	有・弱	有・弱
BOD	mg/L	100	100	100
硝酸性窒素	mg/L	2	2	1~2
アンモニア性窒素	mg/L	>10	>10	>10

・「>10」=測定できる数値を超えているため測定不可（簡易検査のため10以上が測定不可）



チェーンソー講習会開催

伐木等（チェーンソー）の業務に係る特別教育を受講し、安全作業を身につけられます。里山景観維持活動の担い手になってみませんか？

開催日時 令和5年11月24日（金）：8時30分～17時 / 令和5年11月25日（土）：8時30分～17時 / 令和5年11月26日（日）：8時30分～11時35分

開催場所 村役場

受講料 3,000円（講習・テキスト・保険料）
本来の受講料は21,000円ですが、サポート事業で18,000円を負担しております。

内容 学科9時間 実技9時間

申込期限 令和5年10月31日（火）までに電話で農林商工課に申込みください。申込んだ人には後日、講習会申込書を送付いたしますので、記入のうえ農林商工課に提出してください。

☎ 村農林商工課 ☎ 49-3113



高原の鮫川うまいもの祭り中止のお知らせ

10月15日（日）に開催予定の高原鮫川うまいもの祭りは中止となりました。

☎ 村農林商工課 ☎ 49-3113



さめがわ村に行ってみっぺい！ キャンペーン説明会開催

デジタル社会におけるキャッシュレス化の浸透と関係人口創出を図るため、PayPay株式会社と連携したプロジェクト「さめがわ村に行ってみっぺい！飲んで、食べて、泊まって、キャッシュレスで最大30%戻ってくるキャンペーン」を開催します。

このキャンペーンに参加するためには、お手持ちのスマートフォンに各種アプリストアからPayPayアプリをダウンロードし、本人情報の登録が必要になります。村内にお住まいの人でもキャンペーンに参加することができますので、キャッシュレス決済サービスを使ったことがない人などは是非、説明会にご参加ください。

日時 ▶10月18日（水）10時～12時 / 13時～15時※同じ内容で2回開催します。

場所 鮫川村公民館1階「大集会室」

参加方法 相談会への参加申込みは必要ありませんので、当日は開催時間の10分前までに会場にお越しください。

対象 キャンペーンに興味がある人、キャッシュレス決済サービスを使ったことがない人など、どなたでも参加できます

相談会の内容 PayPay株式会社より、キャンペーン概要及びPayPayアプリの使い方などの説明を行います。

キャンペーン概要 開催期間中に対象店舗でPayPayアプリを使ってキャッシュレス決済を行うと、決済金額の30%が後日ポイントとして還元されます。（1回の決済につき1,500ポイント、期間中10,000ポイント上限）

キャンペーン開催期間 令和5年11月1日（水）～12月27日（水）

キャンペーン対象店舗 村内で飲食業・食品販売業・宿泊業を営みキャンペーンへの参加を希望する店舗（対象店舗については現在調整中です）

☎ 村づくり推進室 ☎ 57-6332



国民年金保険料控除証明書 確定申告でお忘れなく

日本年金機構から「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」が対象者宛てに発送されます。お手元に届きましたら大切に保管してください。年末調整や確定申告で使用します。

発送スケジュール

	対象者	送付時期
①	令和5年1月1日から令和5年10月2日までの間に国民年金保険料を送付された人	郵送 令和5年10月下旬から11月上旬にかけて順次
②	①のうち「ねんきんネット」で事前に電子送付希望の登録を行った人	電子送付 令和5年10月中旬から下旬にかけて順次
③	令和5年10月3日から令和5年12月31日までの間に国民年金保険料を納付された人（①の人は除く）	郵送 令和6年2月上旬
④	③のうち「ねんきんネット」で事前に電子送付希望の登録を行った人	電子送付 令和6年2月上旬

保険料の控除証明書はe-taxで利用できる電子版の交付も行っています。マイナポータルから「ねんきんネット」にログインし、電子送付希望の登録をすると、マイナポータルの「お知らせ」で電子版を受け取ることができます。電子版の利用方法については日本年金機構ホームページをご覧ください。

☎ ねんきん加入者ダイヤル

☎ 0570-003-004

暮らしのカレンダー

10/1 日	第1日曜日は環境美化の日	⑤ 埴厚生病院 ☎43-1145
2 月		
3 火		B
4 水	健較運動教室	
5 木		A
6 金		
7 土		
8 日		⑤ 木村医院 ☎46-3528
9 月		⑤ あらまちクリニック ☎33-8018
10 火		C
11 水		D
12 木		E
13 金	乳がん検診	
14 土		
15 日		⑤ つちやクリニック ☎43-2250
16 月	3か月児健康診査 お母さんの口腔健康相談	
17 火		F
18 水	健較運動教室 保育参観デー	
19 木	保育参観デー 心配ごと相談	G
20 金	保育参観デー	
21 土	檀の岡祭	
22 日		⑤ 東館診療所 ☎46-2312
23 月	乳がん検診	
24 火		
25 水	やまぶきの会	
26 木	5歳児健康相談 / お母さんの口腔健康相談 7か月児・10か月児健康診査	
27 金	5歳児健康相談	
28 土	さめっ子フェスティバル	
29 日		⑤ 和田医院 ☎33-2012
30 月		
31 火		
11/1 水		
11/2 木		

戸籍の窓 ※8月届け出分・敬称略

お誕生	住所氏名性月日保護者
	水口阿久津燈央女7.25 隣美季
おく やみ	住所氏名月日年齢
	水口芳賀絹子8.9 96歳
	折戸阿久津定美8.12 69歳
	真坂湯坐富子8.17 92歳
	水口諸橋金作8.25 95歳
官代前田ヒサ8.29 100歳	

人の 動き	人口	2,949人 (-11)
	男	1,518人 (-4)
	女	1,431人 (-7)
	世帯	1,049戸 (-2)

9/1現在
()は前月比

診療所送迎車運行日 ※予約は前日まで

曜日	月	火	水	木	金
地区	赤坂中野 赤坂東野・ 石井草	赤坂西野 西山	全村	青生野	富田 渡瀬

問 村国保診療所 ☎49-2028

NOTE

毎月8日は歯の日です
防災無線で虫歯予防を呼びかけます



10月の担当は…こどもセンターの7人です。
大森結心さん 藤田琉生さん、芳賀羽心さん
小瀧桐也さん、円谷武尊さん、白坂羽衣詩さん、
須藤陽喜さん、

やまゆり乳児室・保育室 [こ]

筋力づくり教室 [保]

あおぞら号昼バス運行日

教育委員会便り 第5回



上半期の公民館事業の様子!

サマースクール

8月1日より中学3年生を対象に「サマースクール」を開催いたしました。ベスト学院から講師を招き、数学と英語の2教科、各教科4回ずつ、計8日間実施し、入試を突破するための学力を身につけようと真剣に取り組む生徒の姿が見られました。生徒たちからも好評で学力のみならず学習意欲も高まったようです。



村民登山

8月11日(金) 山の日にちなんで、「村民登山」を開催いたしました。西吾妻山縦走コースを計画し、午前5時過ぎに村を出発しました。20名が参加し、約6時間の登山となりました。木道のみではなく岩場も多い登山道でしたが、天候にも恵まれ、西吾妻山の大パノラマを満喫できました。



社会学級

7月24日・25日の2日間、各地区において社会学級第2講座「創作活動・木のコースターづくり」を開催しました。2枚の木のコースター枠に丸いタイルを貼り付ける細かい作業でしたが集中して作業し、放射状であったりランダムに配置したりなど思い思いのデザインで楽しく作ることが出来ました。

